

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2009 夏期学校レポート

弓桁あずさ 記



2009 年度教会学校だより,夏期学校レポートをお届けします。本年度は教会に1泊するプログラムを組みました。聖書の学び,ゲームや花火大会そして楽しい食事など,すべて教会でおこないました。どんな夏期学校となったでしょうか。中高科担当の弓桁姉の突撃レポートです。

8月21日金曜日午後1時,子どもたちがぞくぞくと集まってきた。初めて教会で実施する夏期学校。異常気象,地震の頻発,さらに新型インフルエンザの流行の中で,祈りつつ,綿密に準備を進めて望んだ夏期学校の始まりだった。参加予定者は未就学児だけで14名,うち3名が2歳児,就学児童は8名,1時15分には参加予定者すべての子ども22人が満面の笑みで会堂に集まっていた。1人も体調不良で参加できない子どもはなく,みんな元気いっぱい集まることができたのである。またお母さんたちが11名参加。関姉,馬杉姉,西村姉を除いてはすべて教会員ではないお母さんたちである。

テーマは『救い主イエスキリスト』。テーマソングである『神のひとりごイエ



スは』を讃美し、夏期学校は開始された。テーマ聖句はルカ伝 19 章 10 節「ひとの子は、失われた人をさがして救うために来たのです」(注：このレポートは漢字で書いているが、しおりはすべて平仮名と片仮名で書いた。それを見た息子の友達が、「お母さん、これ、おもしろいですねえ。持ち物でせんめんようぐ、ひっきようぐ、じょうびやく、って大人も子どももわからないでしょう！」)。

開会礼拝ではルカ伝 15 章 11～24 節から「帰ってきた息子」と題して、茅ヶ崎同盟教会最強劇団CS 教師陣による劇が上演された。“放蕩息子”の名前は太郎で配役は加藤ちぐさ。父親を早坂美奈子。早坂姉はジンベエを着てチョビヒゲをつけ、お腹の周りに座布団を巻いていた(・・・って、それじゃあ妊婦さんでしょ)。町の不良男と豚の2役を稲津悠紀、安田雄子。この2人は脚本を書き、小道具をそろえ、人の衣装の世話までしてくれたが、2役とも圧巻(大爆笑)の演技(地で行っただけ)である。町の女を稲津亜紀、大木怜子。この2人、年齢差はあるがこれまた素晴らしい演技を披露。豚飼いは弓桁あずさ。稲津姉と安田姉そして飯田姉演ずる三匹の豚を引き連れ登場し、餌を与えて太郎を雇う役である。ナレーションは川島正子。途中2曲独唱があるのだが、これがすばらしく、ギャグ劇の中でコントラストをなし、一際目立った。BGM担当は稲津美穂姉。ピアノの生演奏なので、これも素晴らしかった。最後に父親の所へ太郎が戻ってきた時の父親早坂姉が太郎(加藤姉)に言ったセリフが『おうおう、苦労したんだねえ、こんなにやせ細って！』。また、稲津悠紀姉がお話のまとめでいったこと、『今度の日曜日(23日)、大人の礼拝で熊谷先生がこの“放蕩息子”のメッセージをしてくださいます。どうぞそれを聴いてください！』。





お友だちの紹介後、夏期学校中の注意事項をいって、プール遊びに。未就学児は稲津姉宅で水遊び、就学児童の希望者は東海岸小学校のプールへ行った。私は東小プールの付き添いに行った。水着を着ていたのに、脱いで水着姿をご披露しようとしたら、ちぐさ（加藤姉）& なこ（早坂姉）から、公害・・・というより犯罪になるからやめろと言われ、止められた。私としては何かあったら水に飛び込めるように、と思って水着を着ていったのだが、よく考えてみれば、私は泳げないのだから何の意味もなかった！ 蝦名兄弟は小学校の近くに住んでいるので毎日のように泳いでいるらしく、その前日に忘れていったというビーチボールを回収できた！ 馬杉姉妹と西村美愛ちゃんは本当に仲良く楽しそうに泳いでいたし、3人そろってタオルの帽子をかぶって帰った時は、本当にかわいらしかった。藤池凧砂ちゃんはその数日前に泳げるようになったとかで、とにかく泳ぎたくて泳ぎたくてしょうがないという感じがよくわかってほほえましかった。帰ってみると、もう稲津姉宅へ行った子どもたちも帰ってきていて、おやつタイムになっていた。少し腹ごしらえをした後で、夕食作り。未就学児はフルーツポンチづくり、就学児童はカレーづくりをした。カレー組は涙を流しながら玉ねぎを切り、じゃがいもとにんじんはピーラーで皮むきをしてから猫の手で野菜を切ったが、はじめて包丁を手にする子もいて、これもわくわくドキドキ体験だった。フルーツポンチ組は肉料理を食べるときに使うナイフで果物を切った。赤肉メロンもスイカも入





る豪華版だった。予想より早く夕食の準備ができてしまったので、カレーが煮えるまで、お楽しみタイムとなった。稲津亜紀姉が「愛・アイ・あい」という子どもさんびかの振付を教えて下さり、みんな立ちあがって踊って、本当に楽しかった。「なにがそんなにうれしいの」という子どもさんびかは手話つきで歌い、とにかく子どもが、大人が、笑顔いっぱいでもうめしていた。ゲームもしたし、亜紀姉が手品を披露して下さった（これが全然種も仕掛けもわからないのである）。お楽しみタイムの時、私はカレーの苦手な子のために、シチューを作っていたのだが、牛乳を入れて仕上げている時に、重大な失敗を思い出した。私は肉を買う担当になっていて、前日1キロ購入し、冷凍庫で保管してあったのだが、持ってくるのを忘れた、そのことにその時初めて気がついたのである。ところが、カレーはもちろん、今掻き混ぜているシチューの中にも肉が入っている。亜紀姉の手品じゃないが、鍋からわきでてきたのか？ ちぐさにいった、「ねえ、不思議な事が起こった！持ってきていないはずの肉が入っている！」、「知るか、そんなこと！」って、そりゃそうだ。うちの冷凍庫の肉はうちで食べることになった。

夕食は、本当に子どもたちがよく食べた。お代りをする子が続出し、ご飯が足りなくなったのである。急ぎょサークルKで冷凍のご飯を買ってきた。カレーもあんなに作ったのに全部食べつくした。スゴイ！の一言である。

夕食を食べ終わり、私は仕事で帰らせてもらった。聞いたところによると、大木



姉のショートメッセージのあと、大花火大会が催され、バンバン打ち上げ花火を教会の前でやり、子どもたちは大喜び、一中通りの向こう側からもかなりの人が見ていたという。

その夜泊ったお友だちは15人、お母さんたちは6人だった。全員会堂で寝た。会堂のいすを4つ合わせてベッドを作り、そこに敷布団を敷いて寝た子が9人。

あとは会堂の床にゴザを敷き、ごろ寝をしたが、泊った教会学校の先生、川島姉と稲津姉は徹夜だったそうである。なお布団は貸蒲団で、使用していないシーツ、まくら、掛け布団もついて、一組 1050 円で借りることができたそうである。

朝は6時には起きている子もいた。7時半には洗面、お着替え、デボーションを終え、亜紀姉指導の体操も終わって「お腹がすいた～！」。

朝食はオープンサンドイッチ、好きなパンに好きな具（野菜やハム、ウインナー、スクランブルエッグなど）をケチャップやマヨネーズといっしょに挟んで食べたり、ジャムやマーガリンを付けて食べたりしたが、これもとても美味しく、70 個のパンを 32 人で食べつくしてしまった。

9時から、礼拝。今度は「ザーカイさん」のお話を川島姉から聞いた。字のない絵本をもらい、その歌を歌って、礼拝が終わると聖書ポーチ作り。これがまた、マジでバザーに出品できるほど素晴らしいものができた。紙ナプキンを使ったり、キラペンやそめーるクレヨンを使って絵を書いたり、ビーズを使ったり、とにかくいろいろなものを上手に使って、短時間で素晴らしいものができた。私はテプラという機械を使って名前を作ったり文章を作ったりして、それをアイロンで転写する係りになった。初め機械の使い方もよくわからなかったの、なこちゃんと2人でそれで遊んでいた。要領がわかったので、自分たちのポーチにつけようと、名前などを作り始めたが、その時、なこちゃんが「私、lovely NAKO って作ってもらおうかな。」といっていると、川島姉が来て、「あずちゃん、Jesus Saves って作ってくれる？」ときた。見ろ、この違いを！何が“ラブリーなこ”だよん。それからは、名前を平仮名やローマ字で作ってくれと、子どもたちから次々と注文が殺到し、遊ぶどころではなくなり、大忙しとなった。

昼食の準備に婦人会の方々が9人も来てくださり、おにぎりとうもろこし、枝豆をゆでてくださった。子どもたちはビンゴに興じ、これまたスゴイ景品をもら



っていた。景品の関係から子どものみの参加だったが、あとでディズニーのタオルが残っているのを見つけ、「私、絶対にこれ！」と言ったら、稲津姉に「何が、絶対に、よ。我々参加してないでしょう！」と言って笑われた。だがこれを喜んで持って帰り、今、家で使っている(他人のことをあれこれいえた



義理ではない)。

昼食は、ご飯をあんなに炊いたのに、おむすびが足りなくて、配給制になり、個数制限が設けられた。稲津姉がお食事の前に、「いいですか、おにぎりは1人2個、トウモロコシは1個ですよ。」といったので、大笑いしてしまった。



昼食後、夏期学校の感想文を書いてもらった。字の書けない子は絵を描いてもらった(会堂の後ろの壁に展示してあります)。とにかく楽しかったことがわかる。

テーマソングを歌って、テーマ聖句を読んで、教会学校は毎週9時からあるから来てね！という話をして、麗子先生にお祈りをしていただいて、夏期学校は閉会した。

夏期学校が行われる前日の午後、掃除ならび会場設営をし、スケジュールを確認したりしたが、ずっとその間、廣田兄がああ暑い中、草取りをして下さっていたのである。おかげで、きれいになり、花火大会が広々とできた。会場設営ではいい案がたくさん出て、これからの収穫感謝朝食会の時、もしかしたらクリスマス祝会でも使えるかもしれない。

とにかく、事故もなく、病気になる子、怪我をする子もなく、天気にも恵まれ、地震もなく、すべてが守られ、本当に楽しい夏期学校だった。神様の祝福と守りに、また、お手伝い下さった教会員の方々、教会中で夏期学校のために祈ってくださったこと、本当に心から感謝をささげるものである。おわり

《ふろく》



参加者1人ひとりに絵日記でかんそう文を書いてもらいました。絵だけのお友だちは紹介できなくて残念です。文章はそのまま掲載しましたが、達筆で判読に難儀しました。

かわべりこ(4歳) はなび・・・・・・・・(すみません、判読不能)

おなまえなし(?歳) はなびみている。

ひぐちけいた(5歳) はなびがたのしかった。ふんすいはなびをはじめてみた。

せきわかな(6歳) みんなでプールにはいったよ。はなびもいっぱいみたよ フルーツ・ポンチのフルーツもきったよ。みんなでじぶんだけのポーチもつくったよ。カレーすごくおいしかったよ。ゲームやマジックもおもしろかったよ。



藤池涼(6歳) はなびがたのしかた。プールがたのしかた。

しおかわはるき(6歳) みんなでかばんづくりおしました。たのしかったです。

かわべかほ(6歳) はなびとプールがたのしかった。てじながおもしろかった。

ふる一つをするのがおもしろかった。

えびなちひろ(小学1年) みんなでかれいおつくりました。

ますぎみき(小学2年) 今日,みんなで花火を,美愛ちゃんと,芽依ちゃんと花火をしました。うちあげ花火も見ました。楽しかったです。音が大きかったです。また見たいです。

藤池凧砂(小学3年) プールが楽しかったです。いっぱいおよいでいろいろなことができ楽しかったです。

蛸名洸太郎(小学4年) たまねぎやじゃがいもやにんじんをきったりしてカレーをつくりました。とってもおいしかったです。

馬杉芽衣(小学4年) 私は1日目のプールに行ったのが一番楽しかったです。私は,美愛ちゃんと美希ちゃんと遊びました。プールは少し浅かったです。特に水中にらめっこが楽しかったです。みんな変な顔をしていました。時々泳いでいると,はぐれてしまったけど,すぐ一緒になりました・帰った後,カレーを作りました。玉ねぎを切ると目がいたくなりました。でもと~~~~~ってもおいしかったです。また夏期学校に行きたいです。

編集後記 (Aug,31st.2009 Updated)



これまで奥多摩での2泊3日で行っていた夏期学校を,今期初めて教会1泊での開催となりました。日程も平日開催として多くの参加があり楽しい夏期学校となりました。今回は都合で参加できなく,教会学校だよりの編集作業で後追い参加させていただきました。教会のホームページにもこの教会学校だよりが掲載されますので是非ご覧ください。(森本)